

授業科目名	財務諸表論Ⅰ		科目コード	1012008	
開講クラス	経理本科	コース	税理士チャレンジ	学年	1年
担当教員	矢野 浩				
	実務経験教員 (無)				
	実務経験内容				
開講時期 必修・選択	後期			授業コマ数	60 時間
	必修			単位数	2 単位
使用 テキスト 1	書 名	財務諸表論テキスト			
	著 者	大原簿記学校 教材開発部			
	出版社	大原出版			
使用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	会計法規集（中央経済社）				
授業形態	講義				
< 授業の目的・目標 >					
企業会計原則、諸会計基準、概念フレームワーク等の内容およびその結論に至った背景を理解する。また、制度に準拠した会計処理および財務諸表作成方法を理解する。 最終的に税理士試験「財務諸表論」の合格を目指す。					
< 授業の概要・授業方針 >					
講義を中心に行う。 特に理論は概念的・抽象的な内容も含まれているので、できる限り具体的な例を示し、理解の助けになるような授業を行う。					
< 成績基準・評価基準 >					
授業態度、確認テストの結果を総合的に判断し評価をする。 優…100～80 良…79～70 可…69～60 不可…60未満					
< 使用問題集・注意事項 >					
・個別計算問題集 ・総合計算問題集（基礎） ・総合計算問題集（応用） ・理論問題集 ・過去試験問題集 ボリュームが多く、かつ、進み方が速いので一日完結を必ず行うこと。					
< 授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他 >					
簿記3級、簿記2級、簿記1級、簿記論					

授業科目名		財務諸表論Ⅰ	
回	授業内容	備考	
1	ガイダンス		
2	計算：財務諸表作成の基礎		
3	計算：財務諸表作成の基礎		
4	計算：現金及び預金		
5	計算：現金及び預金		
6	計算：固定資産Ⅰ		
7	計算：固定資産Ⅰ		
8	計算：棚卸資産Ⅰ		
9	計算：棚卸資産Ⅰ		
10	計算：棚卸資産Ⅱ		
11	計算：棚卸資産Ⅱ		
12	計算：固定資産Ⅱ		
13	計算：固定資産Ⅱ		
14	計算：税金Ⅰ		
15	計算：税金Ⅰ		
16	計算：繰延資産		
17	理論：企業会計の意義と領域		
18	理論：企業会計の意義と領域		
19	理論：資本循環と財務諸表		
20	理論：資本循環と財務諸表		
21	計算：引当金Ⅰ		
22	計算：引当金Ⅰ		
23	理論：企業会計制度		
24	理論：企業会計制度		
25	理論：真実性の原則		
26	理論：真実性の原則		
27	計算：引当金Ⅱ		
28	計算：引当金Ⅱ		
29	計算：引当金Ⅱ		
30	理論：会計の技術的構造		
31	理論：会計の技術的構造		
32	理論：正規の簿記の原則		
33	理論：正規の簿記の原則		
34	理論：正規の簿記の原則		

35	理論：正規の簿記の原則	
36	理論：単一性の原則	
37	理論：単一性の原則	
38	計算：給料等	
39	計算：給料等	
40	理論：明瞭性の原則	
41	理論：明瞭性の原則	
42	理論：明瞭性の原則	
43	理論：明瞭性の原則	
44	理論：保守主義の原則	
45	理論：保守主義の原則	
46	理論：保守主義の原則	
47	理論：保守主義の原則	
48	計算：引当金Ⅲ	
49	計算：引当金Ⅲ	
50	計算：引当金Ⅲ	
51	理論：重要性の原則	
52	理論：重要性の原則	
53	理論：重要性の原則	
54	理論：重要性の原則	
55	計算：有価証券Ⅰ	
56	計算：有価証券Ⅰ	
57	計算：有価証券Ⅰ	
58	第1回確認テスト	
59	第1回確認テスト	
60	第1回確認テスト	